

2021年度 帯広コア専門学校 自己評価報告書

1. 実施方法

学校長指示の下、事務長により評価表を作成し、それぞれの項目について点検、評価を行った。評価は、「1（不適切）～4（適切）」の4段階評価とし、可能な限り根拠や課題を明示するように努めた。

2. 自己評価 結果（状況・課題等）

基準1 教育理念・目的・育成人材像等		評価	前回
【1-1】	理念・目的・育成人材像は定められているか	3.4	3.1
【1-2】	学校の特色は何か	3.3	3.0
【1-3】	学校の将来構想を抱いているか	3.3	3.3
<p>十勝唯一の総合的高等教育機関として創立 36 年を迎える中、昨年度より”学校の価値”について改めて考えている。人口減少・少子高齢化、テクノロジーの発達、産業構造や社会システムの変化、更に新型コロナの影響など学校を取り巻く環境が大きく変化している。</p> <p>学校、教育も更なる進化が必要で、理念・目的・育成人材像など適時見直しが必要である。</p> <p>“学校の価値”については、人や知識における「地域の HUB」を念頭に教職員は無論、学生も含めての活動を開始した。今後も地域社会と連携しながら価値の向上を図って行く。</p> <p>また、自己評価のコメントにもあるように、学科毎の教育理念には改善の機会がある。それぞれの学科の専門性を活かしながら”学科・専門の価値”を更に追求して行く予定である。</p>			

基準2 学校運営		評価	前回
【2-4】	運営方針は定められているか	3.3	3.1
【2-5】	事業計画は定められているか	3.3	3.1
【2-6】	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3.3	3.1
【2-7】	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	2.6	2.8
【2-8】	意思決定システムは確立されているか	3.3	3.1
【2-9】	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.0	3.3
<p>運営方針や事業計画に関しても上記1の見直しの中でさらに進化させて行く。</p> <p>新型コロナへの対応などで校内ネットワーク強化を進め、次年度からは、情報学科の学生から 1人1台の占有PC 配備も行うなど、ハード面でのデジタル化は今後も計画的に進める。</p> <p>ソフト面では、Google Workspace の導入を中心に進めているが、まだまだ改善の余地多く、計画的に研究・実装・運用のサイクルを廻して行く。</p> <p>昨年から続く情報学科の教員不足への対応など教職員の配置に大きな問題意識を持っている。事業計画の中で教職員のスタッフィングも検討&整備して行く。</p>			

基準3 教育活動		評価	前回
【3-10】	各学科の教育目標・育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3.0	2.9
【3-11】	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	3.0	2.9
【3-12】	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.1	3.3
【3-13】	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3.3	3.4
【3-14】	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3.0	3.0
【3-15】	授業評価の実施・評価体制はあるか	2.7	2.7
【3-16】	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.5	2.9
【3-17】	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.5	3.3
【3-18】	資格取得の指導体制はあるか	3.3	3.3
<p>地域産業の動向や社会環境の変化に合わせカリキュラム構成を再検討し、教育課程編成委員会の意見を参考にしている。学科ごとの目的、使命を再認識し、それぞれの到達レベルに向けた指導方法と体制をさらに強化したい。成績表や単位認定に関しては、より正確で公正であるよう改善する。また、授業評価に関しては、不十分であり、まずは、授業評価の仕組みを作成し、その結果を評価する体制も強化する。今後もより密度を増してカリキュラムや教育方法などの見直しに活用したい。学生の学力レベルに大きな差が見られ、個別指導で教員の負担増が課題である。今後、指導方法などについて検討を続け改善したい。</p>			

基準4 教育成果		評価	前回
【4-19】	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3.1	2.9
【4-20】	資格取得率の向上が図られているか	3.0	3.3
【4-21】	退学率の低減が図られているか	2.6	3.0
【4-22】	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.5	2.5
<p>学生との相談や個別面談などを含めコミュニケーションには十分な配慮がある。少人数の学校ならではのと思うが、継続して行きたい。</p> <p>今年度は、特に退学者が多く、非常に大きな問題である。退学の理由は、”健康上の問題”を除けば、”進路変更”的な理由が最も多く、入学時に選択した専門職に対する理解と執着に希薄さも感じる。入学前および入学後に専門職に対する理解を深める活動を強化する。</p> <p>卒業生に関しては、大変残念ながら疎な関係が継続している。地域社会へ向けた学校活動を活発化し卒業生との関係強化の機会を設け同窓会組織の再構築を行いたい。</p>			

基準5 学生支援		評価	前回
【5-23】	就職に関する体制は整備されているか	3.3	3.1
【5-24】	学生相談に関する体制は整備されているか	2.8	3.2
【5-25】	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.2	3.0
【5-26】	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.1	2.9
【5-27】	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.1	2.9
【5-28】	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	2.7	2.5
【5-29】	保護者と適切に連携しているか	2.9	2.9
【5-30】	卒業生への支援体制はあるか	2.4	2.5
<p>学生支援に関しては、一定の制度的な整備はある。学生とのコミュニケーションの中や自治体や地元企業とも連携して今後も充実を計って行きたい。</p> <p>卒業生との連携と同じく保護者との連携も課題である。一部、問題がある学生の保護者との3者面談などは、積極的に行っているが、その他の保護者との連携が不十分である。PTA活動もほぼ無く大きな課題と認識している。新型コロナウイルスの状況も見ながら、PTAとの連携を実施したい。</p>			

基準6 教育環境		評価	前回
【6-31】	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.4	2.3
【6-32】	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.1	3.2
【6-33】	防災に対する体制は整備されているか	3.3	3.1
<p>校舎の老朽化や教室不足、設備更新が大きな課題である。寒い、暑い、臭いなどの指摘が多く、是非にも改善しなくてはならないと考えている。次年度は、まずは、冷暖房設備の更新を計画し実行したい。その他、中長期での計画の中で改善を図って行く。</p> <p>学外実習やインターンシップなどは、全学科のカリキュラムに含め実施しているが、更に強化する。専門職学生による出前授業の開催や学習成果を地域社会へ発信する学内セミナーなど積極的に実施する。特に、最新のICT技術を学生が学び地域社会へ発信する”Tech Lab授業”を継続拡大する。</p>			

基準7 学生の募集と受け入れ		評価	前回
【7-34】	学生募集活動は、適正に行われているか	3.1	3.1
【7-35】	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2.7	3.0
【7-36】	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3.4	3.5
【7-37】	学納金は妥当なものとなっているか	3.3	3.1
<p>学生募集は、教育成果＝学生の活躍としたい。入学選考は、今回の指摘にもあるようにほぼボーダーフリー状況にある。専門学校として”手に職をつける”ことの実現が非常に重要であるが、より高みを目指して本校の価値向上に向け活動する。学納金は、学校DXの推進の中で低減を目指していく。</p>			

基準8 財務		評価	前回
【8-38】	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.8	3.1
【8-39】	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.2	3.0
【8-40】	財務について会計監査が適正に行われているか	3.8	3.5
【8-41】	財務情報公開の体制整備はできているか	3.5	3.5
<p>本校は適切に財務処理が行われており、職業実践専門課程の認定を受けていることから財務情報を公開している。また財務基盤の安定のためには、学生数の確保が重要であるが、今後の社会状況からは、入学生の増加は、益々難しくなって行くと考える。なので、”学校の価値”の見直しの上で新たな事業モデルへもチャレンジする。</p>			

基準9 法令等の遵守		評価	前回
【9-42】	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.6	3.3
【9-43】	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.3	2.9
【9-44】	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.3	3.0
【9-45】	自己点検・自己評価結果を公開しているか	3.3	3.1
<p>北海道学事課と必要な都度確認し指導を受ける手順としている。情報管理に関しては不十分な点もあり、まずは、学校データの整理&管理の見直しを開始する。自己評価の公表や学校関係者評価の公表は、ホームページで行っている。</p> <p>今回の自己評価結果も含め、事業計画の中で計画的に改善して行く。</p>			

基準10 社会貢献		評価	前回
【10-46】	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.4	3.3
【10-47】	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3.2	3.5
<p>社会貢献は、学生および学校にとって最大の活躍の場と認識している。ボランティア活動に加え出前授業や学内セミナーに留まらず、学校施設も地域社会へ広く開放し、学校を地域の人と人、企業と企業をつなぐハブとなるよう活動して行く。</p>			

以上